

# フードコミュニティ いしかわ

第35号

2022年11月発行

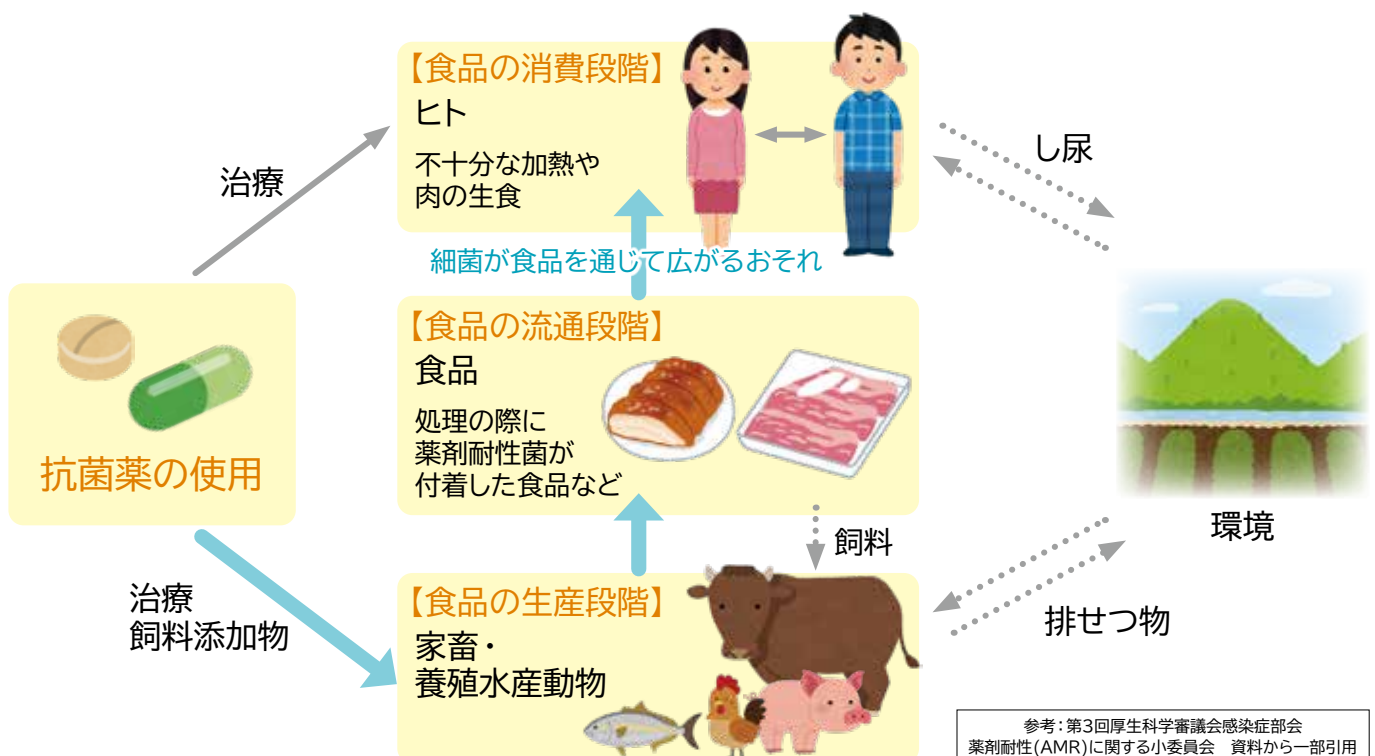
## 薬剤耐性 (AMR) を知っていますか？ ～食品の分野で取り組まれている対策について～

効くはずの抗菌薬・抗生物質が薬剤耐性菌によって効きにくくなる又は効かなくなることを薬剤耐性 (AMR: Antimicrobial Resistance) と呼んでおり、今、世界的に注目されています。このまま何も AMR 対策を取らなければ、薬剤耐性菌によって2050年には世界全体で年間約1,000万人が死亡する\*とされていることをご存知でしょうか。

薬剤耐性菌を増やさないために、**食品の分野で取り組まれている対策**を紹介するとともに、皆さんが取り組めることは何か考えてみましょう。(※「知ろう まもろう 抗菌薬 (AMR臨床リファレンスセンター発行)」より)

### 薬剤耐性菌と食品はどのような関りがあるの？

抗菌薬は、人に使う以外にも動物の医療や畜産業、水産業、農業などあらゆる分野で使われています。そのため、人以外に由来した薬剤耐性菌 (ブタ由来 MRSA など) が、**→の流れで食品を介して人へ広がる可能性があります**。逆に人から人以外へ広がることも考えられます。人だけではなく、動物や環境も同じように健康であるために、関わる全ての人が連携して薬剤耐性菌を増やさないように取り組んでいくことが重要です。



# 食品の生産段階で取り組まれているAMR対策

## <畜産分野で取り組まれている対策>

畜産分野では、抗菌剤を動物用医薬品や飼料添加物として使用されています。

家畜への抗菌剤の使用により増加した薬剤耐性菌が、家畜の治療を困難にするだけでなく、畜産物等を介して、人の感染症の治療を困難にすることが懸念されています。そのため、生産者である畜産農家や獣医師をはじめとする畜産関係者には、薬剤耐性問題を理解し、「抗菌剤の慎重使用」を徹底すること等が求められています。



具体的な取り組みとして、県の家畜保健衛生所では、畜産農家に対し、家畜伝染病予防法に基づく飼養衛生管理基準の遵守の徹底について確認を行い、発見された不適切な項目（車両・手指・物品の消毒等）に対して適宜指導を行っております。

飼養衛生管理の徹底により農場の衛生状態が向上し、感染症が減れば、抗菌剤の使用機会が減ることとなります。

また、畜産農家に対し、飼料添加物としての抗菌剤について、できるだけ限定的に使用することなど、飼料の適正使用に係る監視・指導を行い、適正に使用されていることを確認しております。

### 【飼養衛生管理基準の遵守状況の確認・指導】

対象	令和元年度	令和2年度	令和3年度
牛飼養農家	90戸	86戸	84戸
豚飼養農家	15戸	14戸	12戸
鶏飼養農家	21戸	21戸	21戸

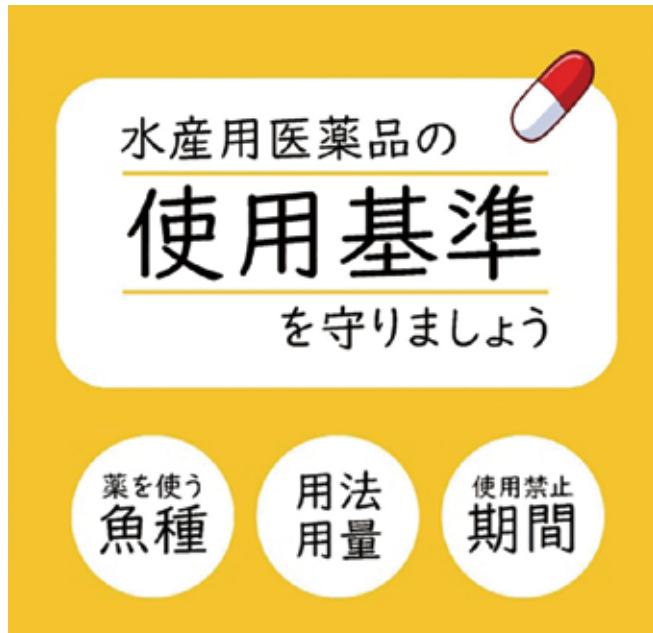
### 【飼料安全法令等の遵守の徹底に関する監視・指導】

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
畜産農家の監視・指導	126件	121件	116件
飼料取扱業者への立入	6箇所	6箇所	6箇所



## <水産分野で取り組まれている対策>

水産分野では、食用となる養殖水産動物向けに抗菌剤を含む水産用医薬品が使用されており、畜産分野同様、医薬品の有効性を確保するためにも、AMR対策は重要な課題です。そのため、養殖業者に向けて、農林水産省が作成したパンフレット『水産用医薬品について』を毎年配布し、巡回指導などを通じて医薬品の適正使用の普及啓発を図っています。

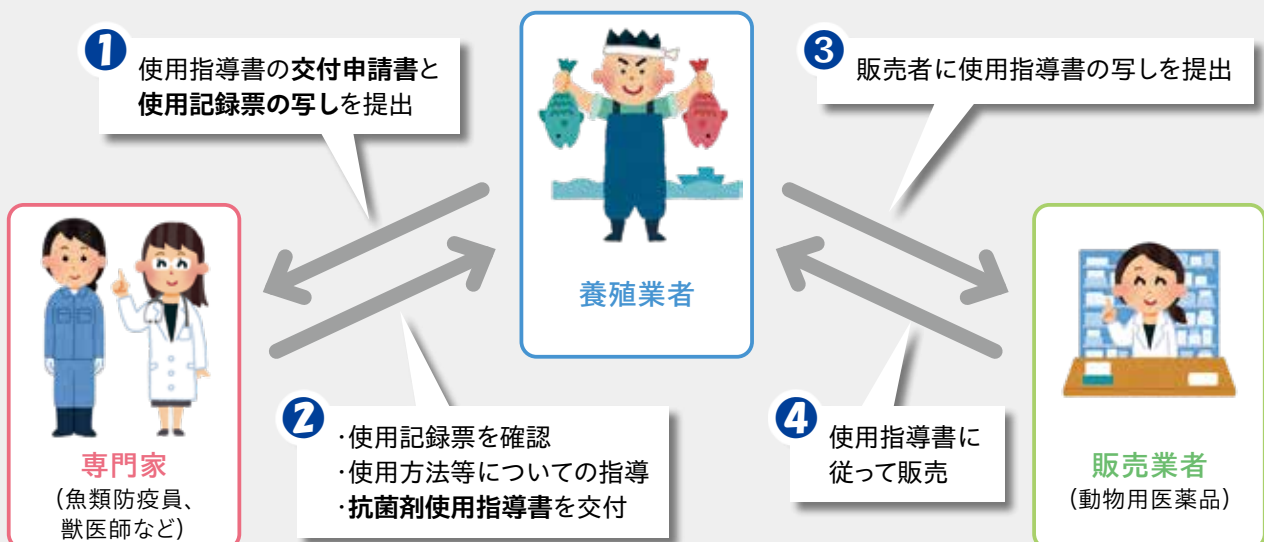


水産用医薬品（抗菌剤やワクチン）は、販売業者から購入する際に、指導機関が交付する『使用指導書』が必要となりますが、この交付申請には抗菌剤の『使用記録簿』の提出が必要です。

指導機関である石川県水産総合センターでは、県内の養殖場を巡回し、施設の状況や養殖魚の状態を確認するほか、疾病の診断や薬剤の使用記録簿の作成等について助言指導するなど、水産用医薬品の適正使用を推進しています。

また、抗菌剤の使用を必要最低限に抑えるため、ワクチンの普及も図っています。

## 水産用抗菌剤の購入方法 （水産用抗菌剤の取扱いについて（H29.4.3付消費・安全局長通知）より）



# 食品の流通段階で取り組まれているAMR対策

抗菌剤を含む動物用医薬品は、生産段階で安全性を考えて使われていますが、流通段階において、動物用医薬品の残留がないか確認するため、県では「牛肉」「豚肉」「鶏肉」「鶏卵」の抜き取り検査を実施しております。



【食品の流通段階の抜き取り検査状況】



検査内容	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	検査数	違反件数	検査数	違反件数	検査数	違反件数
抗生物質	16件	0件	12件	0件	12件	0件
合成抗菌剤	37件	0件	37件	0件	31件	0件
残留基準値の定められている抗生物質等	10件	0件	8件	0件	10件	0件

このように、食品の安全性と AMR 対策を確保するため、生産・流通の各段階でそれぞれ取り組みが行われています。

## 薬剤耐性菌を増やさないために 私たちが家庭で取り組める5つの予防ポイント

1. 感染症を予防しよう (手洗い、ワクチン接種、消毒…etc)
2. 抗菌薬は医師の指示通り飲みきる  
(症状が治まっても最後まで飲み切る、服薬量や回数は変えない)
3. 抗菌薬はとっておいて後で飲まない
4. 抗菌薬はあげない、もらわない
5. わからないことは医師や薬剤師に聞こう



## 石川県 健康福祉部 食品安全対策室

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 電話 076-225-1445

メールアドレス [foodsafety@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:foodsafety@pref.ishikawa.lg.jp)

ホームページ 『いしかわの食の安全・安心情報』

いしかわ 食の安全

検索